

平成28年度〔第18期〕決算

平成29年5月15日

東日本電信電話株式会社

営業利益

(億円)

5期連続増益
過去最高益を3期連続更新



■ 営業利益は、1,891億円

5期連続増益、過去最高益を3期連続で更新

■ 当期純利益も1,496億円となり

5期連続増益、過去最高益を2期連続で更新

- 営業利益: 1,891億円 対前年+272億円
- 当期純利益: 1,496億円 対前年+308億円
- 設備投資: 2,738億円 対前年▲201億円

■ フレッツ光(コラボ光を含む)の純増数は、

対前年+24万増の51万純増

- H28年10月末にフレッツ光契約数が1,100万契約を突破するとともに、固定電話加入数を逆転

光の契約数推移

(万契約)

1,040 $\xrightarrow{+26}$ 1,067 $\xrightarrow{+51}$ 1,117



(万契約)

	H27年度		H28年度	
	純増数	契約数	純増数	契約数
フレッツ光(コラボ光含む)	+26	1,067	+51	1,117
(再)コラボ光*	+289	308	+225	533

*フレッツ光からコラボ光への転用数を含む

<参考>固定電話(加入電話+ISDN)	▲76	1,129	▲68	1,061
---------------------	-----	-------	-----	-------

■ 有利子負債を、3,658億円まで圧縮 (対前年▲651億円削減)

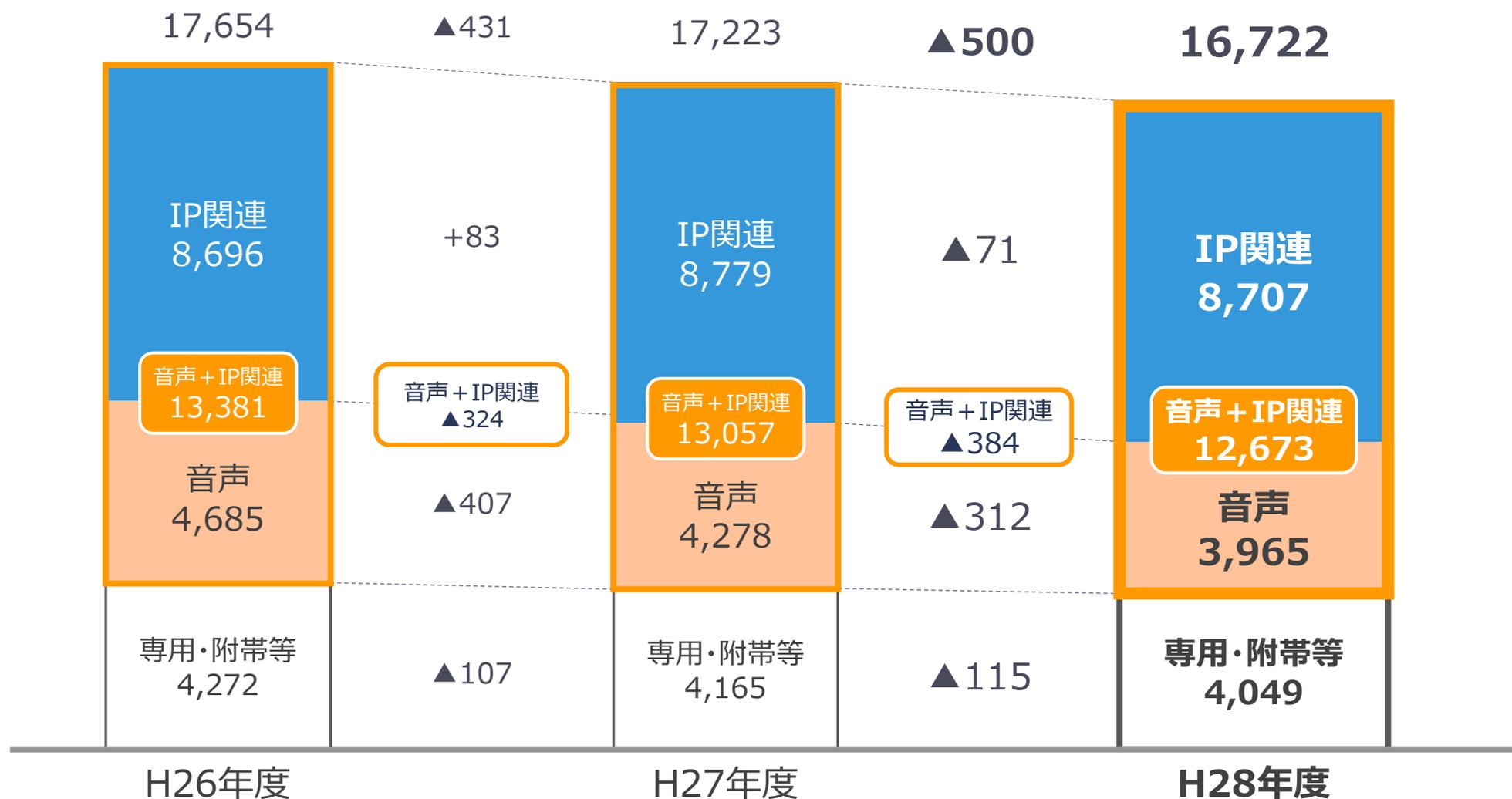
2. 損益及び設備投資の状況

(単位：億円)

項 目	前 期 (H27年度)	当 期 (H28年度)	増減額	増減率
営 業 収 益	17,223	16,722	▲ 500	▲ 2.9%
営 業 費 用	15,604	14,831	▲ 773	▲ 5.0%
営 業 利 益	1,618	1,891	+ 272	+ 16.9%
経 常 利 益	1,734	2,044	+ 309	+ 17.9%
特 別 損 益	▲ 37	—	+ 37	—
当 期 純 利 益	1,187	1,496	+ 308	+ 26.0%
設 備 投 資 額	2,940	2,738	▲ 201	▲ 6.9%

3. 営業収益の推移

(単位：億円)



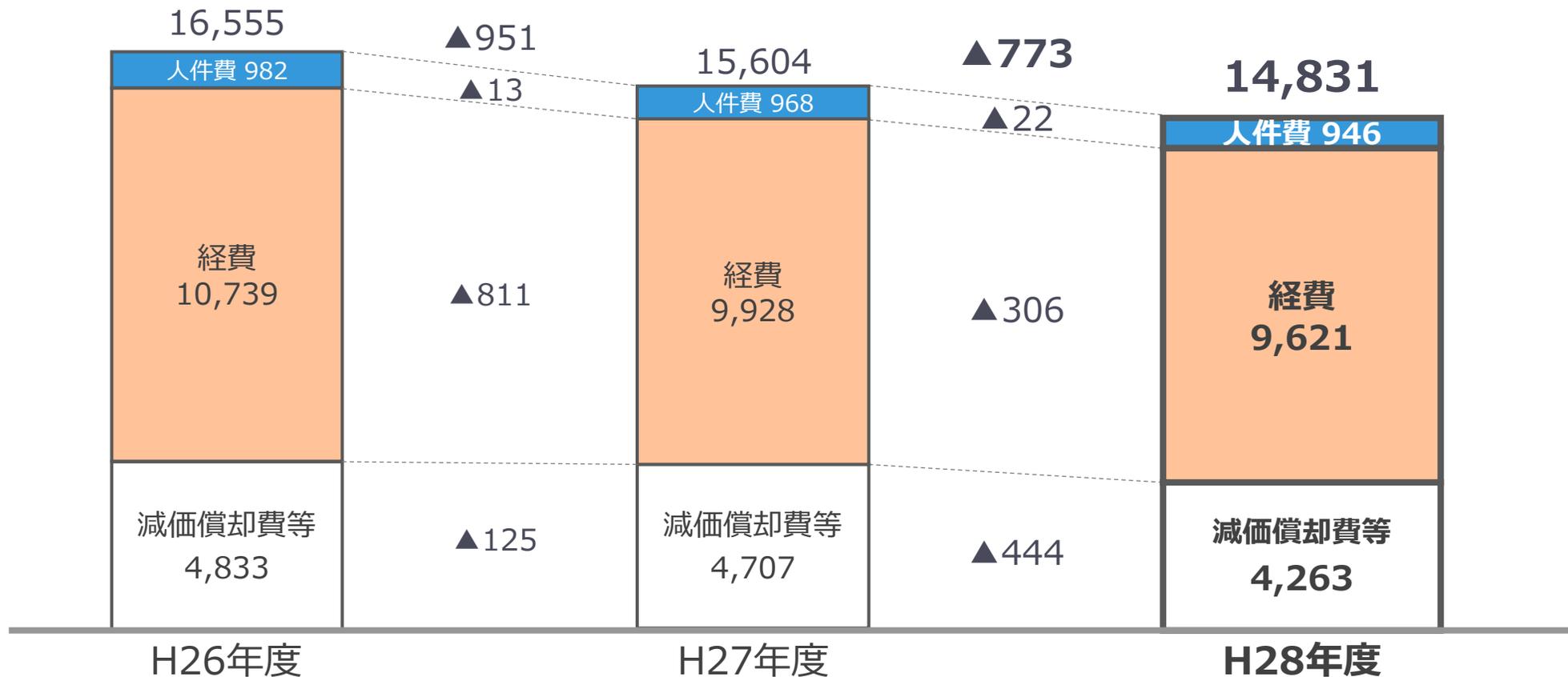
4. 営業費用と営業利益の推移

(単位：億円)

営業利益



営業費用



5. 次期業績予想

- 営業収益は、対前年▲322億円減の1兆6,400億円。
- 営業費用は、対前年▲331億円減の1兆4,500億円。
- 営業利益は、収益減を費用減でカバーし、対前年+8億円増の1,900億円（3月申請の認可計画から+100億円の増修正）。
- 当期純利益は、1,310億円を見込む。
- フレッツ光純増数・設備投資額については、認可申請時と同。

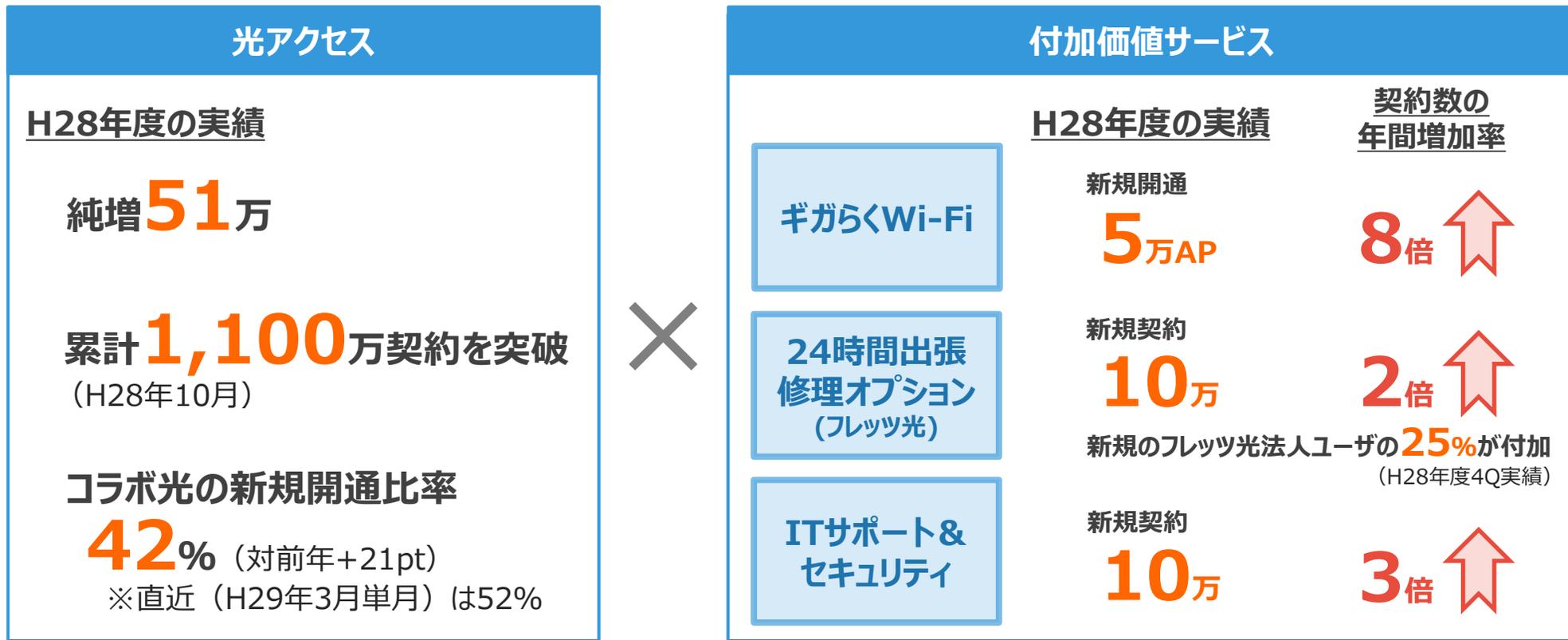
項 目		次期業績予想 (H29年度)	対前年増減額	対前年増減率	認可計画からの 修正額
営業収益	億円	16,400	▲ 322	▲ 1.9%	+ 130
(再) IP関連収入		8,720	+ 12	+ 0.1%	+ 120
営業費用		14,500	▲ 331	▲ 2.2%	+ 30
営業利益		1,900	+ 8	+ 0.5%	+ 100
経常利益		1,900	▲ 144	▲ 7.1%	+ 100
当期純利益		1,310	▲ 186	▲ 12.5%	—
フレッツ光純増数※	万契約	50	▲ 1	▲ 1.3%	—
設備投資額	億円	2,500	▲ 238	▲ 8.7%	—

※フレッツ光についてはコラボ光を含む。



6. ビジネスユーザ市場における光×サービスの取り組み

- 光アクセスと付加価値サービスをかけ合わせて提供していくことで、光アクセスの価値を高めるとともに、ビジネスユーザ市場における収益を拡大。



- セキュリティ対策や保守・サポートを中心にサービスラインナップを充実



おまかせアンチウイルス



訪問修理オプション
(24時間保守・サポート)



本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされ、もしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされ、もしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会における説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。